第53回福井県老人クラブ大会

のばそう！　健康寿命、担おう！　地域づくりを

令和８年11月６日(金)

多田記念大野有終会館

主　催　一般財団法人 福井県老人クラブ連合会
共　催　大野市老人クラブ連合会
後　援　福井県
　　大野市

【メインテーマ】

のばそう！ 健康寿命、担おう！ 地域づくりを

＜健康寿命＞

〇健康寿命をのばし、自立した生活、生きがいある生活の実現を目指します。

〇仲間や地域の高齢者とともに継続的な健康活動に取り組みます。

＜地域づくり＞

〇他世代や関係団体と連携し、安全･安心の住みよい地域づくりを目指します。

〇元気高齢者の知識・経験・活力を生かす場づくり・機会づくりを広げます。

第53回福井県老人クラブ大会開催要綱

1．メインテーマ

「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

2．趣　旨

少子高齢化や人口減少が進む中、地域における人とのつながりの希薄化が課題となっており、誰もが住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし、共に支え合う「地域共生社会」の実現が求められています。

こうした中、老人クラブは、仲間づくりや健康づくり、介護予防活動をはじめ、高齢者相互の支え合いや見守り活動などに取り組み、地域社会を支える重要な役割を担っています。また、社会参加を通じて、高齢者の持つ経験や知恵を生かした活動は、地域に活力をもたらすものとして期待されています。

これらの活動をさらに推進することで、地域の様々な組織と連携した支え合いの輪の拡充が図られ、老人クラブ活動の一層の活性化と高齢者福祉の向上につながります。

本年は、豊かな自然と清らかな水に恵まれ、「結の心」が息づく城下町・大野市において開催いたします。

3．主　催　（一財）福井県老人クラブ連合会

4．共　催　大野市老人クラブ連合会

5．後　援　福井県・大野市・福井県市長会・福井県町村会
（福）福井県社会福祉協議会　（福）大野市社会福祉協議会
福井新聞社・ＦＢＣ・福井テレビ

6．期　日　令和８年 11 月６日（金）

7．会　場　多田記念大野有終会館（結とぴあ）
住所：〒 912-0084　大野市天神町 1 番 19 号
電話：(0779) 65-8766

8．参加者　約 500 名（被表彰者含む）

9．日　程

10：00	10：45	11：00	11：30	11：50
受付	開　会 式　典 表　彰 来賓祝辞	休憩	地元 アトラクション	大会宣言	閉会

大　会　次　第

第１部（10:00～10:45）

歓迎のことば	大野市老人クラブ連合会会長	飯　田　賢　治
国　歌　斉　唱		
新福井県民歌斉唱		
物故者への黙祷		
あ　い　さ　つ	福井県老人クラブ連合会会長	三　上　利　明
表　　彰	老人クラブ育成功労者知事表彰	
	代表　大野市	松　田　英　子
	福井県老人クラブ連合会会長表彰	
	老人クラブ育成指導功労表彰	
	代表　美浜町	森　久　照　雄
	優良老人クラブ表彰	
	代表　鯖江市	みどり町緑寿会
	会員増強運動表彰	
	単位クラブ　代表　坂井市	磯部さわやかクラブ
	市町老連	敦賀市老人クラブ連合会
	活動賞表彰	
	代表　福井市	中藤第二福寿会
来　賓　祝　辞	福井県副知事	大　瀧　　洋
	福井県議会副議長	兼　井　　大
	大野市長	石　山　志　保
	大野市議会議長	廣　田　憲　徳

【小　　憩】

第２部（11:00～11:50）

○地元アトラクション

奥越太鼓保存会

大野市老人クラブ会員による「老人クラブの歌」の踊り披露

生三味線演奏による「大野音頭」の踊り披露

大 会 宣 言	大野市老人クラブ連合会	山 口 明 美
次回開催地老連挨拶	越前町老人クラブ連合会会長	髙 橋 健 一
閉会のことば	福井県老人クラブ連合会副会長	廣 部 重 紀
［司 会 進 行］	大野市老人クラブ連合会	田 中 茂 子

令和８年度　老人クラブ育成功労者知事表彰
被表彰者

老人クラブ育成功労者（15名）

市　町　名	氏　　名	性　別	年　齢
福 井 市	大　音　桂　子	84	女
	服　部　　悟	86	男
敦 賀 市	丸　山　かつ枝	82	女
小 浜 市	芝　田　友　貞	83	男
大 野 市	松　田　英　子	83	女
勝 山 市	加　藤　健　一	88	男
鯖 江 市	中　村　靖　子	84	女
あわら市	山　﨑　長吉郎	90	男
越 前 市	村　上　和　子	86	女
坂 井 市	大　嶋　　誠	79	男
永平寺町	南　保　秀　樹	83	男
池 田 町	山　本　康　雄	80	男
南越前町	山　本　克　彦	86	男
越 前 町	馬　谷　友　江	83	女
おおい町	森　内　正　美	78	男

令和８年度　福井県老人クラブ連合会会長表彰
被表彰者

１.老人クラブ育成指導功労表彰（26名）

市　町　名	氏　　名	性別	年齢	役　　職　　名
福　井　市	藤　井　輝　雄	男	82	福井市老連副会長
	舟　木　惠美子	女	85	元　照手第三ふれあいクラブ副会長
敦　賀　市	谷　川　幸　男	男	78	敦賀市老連副会長
	藤　村　公　子	女	81	敦賀市老連副会長・女性部長
	大　野　冨　夫	男	90	南地区副会長
小　浜　市	大　井　幹　夫	男	77	前　小浜市老連会長
大　野　市	金　森　閲　治	男	84	前　大野市老連会長
	風　林　紀一郎	男	85	前　阪谷地区福寿会寿クラブ長
勝　山　市	石　黒　將　文	男	83	前　平泉寺町高連会長
鯖　江　市	坂　上　喜　一	男	78	鯖江市老連理事
	竹　内　千代子	女	81	鯖江市老連副会長
あわら市	伊　藤　昭　榮	男	84	前　あわら市老連会長
	番　場　博　美	男	80	元　あわら市老連副会長
越　前　市	佐　治　孝　郎	男	86	前　越前市いきいきシニア連副会長
	河　村　信　之	男	79	南二・三クラブ会長
	坂　口　與　一	男	76	八幡高年クラブ会長
	前　田　絹　代	女	88	元　北日野地区連副会長

市　町　名	氏　　名	性別	年齢	役　　職　　名
坂 井 市	黒　川　　信	男	91	西部第４クラブ会長
	木　内　敏　男	男	82	第３福寿会会長
	小　出　伸　昭	男	83	古城すこやかクラブ連副会長
永平寺町	長谷川　茂　雄	男	83	元　永平寺町長寿連副会長
池 田 町	山　品　明　子	女	82	下池田地区老人クラブ会長
南越前町	嶋　﨑　　洋	男	84	前　南越前町老連会長
越 前 町	稲　田　榮美子	女	83	越前町老連女性部長
	吉　田　隆　幸	男	76	前　越前町老連副会長
美 浜 町	森　久　照　雄	男	77	前　美浜町老連会長

２.優良老人クラブ表彰（4団体）

東郷老人クラブ

市　町　名	敦賀市	地　　域	東郷地区　葉原・田尻・新保・獺河内・深山寺・樫曲・越坂・川北・谷口・余座・河原町・大蔵・井川・藤ヶ丘町・高野・泉ヶ丘町・谷・中
代 表 者 名	寺杣　督平	クラブ結成年月日	昭和 55.4.1
会員数（加入率）	241名（27%）	例 会 会 場	東郷コミュニティセンター

活動概要：

東郷地区は、過疎化が進み、18 の小さな集落を 7 単位クラブにまとめ運営している。人口減少や高齢化、移動手段の確保といった地域課題も多いなか、会員の健康と親睦および福祉の増進を図り、地域性を活かし会員のニーズに応える事業等を展開している。

地区コミュニティセンターの事業への積極的な参加や、周辺の定期的な清掃・草刈りといった奉仕活動等を協力し、地域の環境美化に努めている。

また、健康維持とフレイル予防を目的とした体力測定や各種スポーツ（スティックリング、フロアカーリング等）大会の開催をはじめ、そば打ち教室や交通安全教室、春・秋のバス旅行などを通じて、会員同士の親睦を図っている。

当クラブは「地区内から老人クラブに加入できない集落をつくらないように」という友愛精神のもと、数十年以上活動が継続されている。

みどり町緑寿会

市　町　名	鯖江市	地　　域	神明地区
代 表 者 名	高島　　堅	クラブ結成年月日	昭和 61.4.20
会員数（加入率）	43名（12.3%）	例 会 会 場	みどり会館

活動概要：

年間を通じて「健康・友愛・奉仕」の基に、地域に根ざした活動に積極的に取り組んでいる。

健康活動では、会員の健康と親睦を目的に、コミュニティバスを利用した小旅行やミニウォーキング、ボッチャ等のニュースポーツを中心とした定期大会を開催し、地区内外との交流を図っている。あわせて、フレイル予防サポーターで構成される市民団体を招いた「フレイル予防講座」を開催し、成果を上げている。

友愛・奉仕活動では、神社や公園、公民館、忠霊塔などの清掃奉仕活動、また、14 年間にわたり、町内幹線道路の交差点での「子ども見守り活動」を継続している。

さらに、区や民生委員、福祉委員、福祉ネットワークと連携し、一人暮らしの高齢者や障がいを持つ方の情報を共有しながら、地域のサポート体制に参画し、活動している。

余川町万葉くらぶ

市　町　名	越前市	地　　域	余川町
代 表 者 名	三田村範幸	クラブ結成年月日	平成 22.4.29
会員数(加入率)	37名(57%)	例 会 会 場	余川町生活改善センター

活動概要：

休止していた老人クラブを平成 22 年に再立ち上げ、入会対象を 60 歳からとし、万葉の里にちなみ「余川町万葉くらぶ」と名称を変更することで、若手が少しでも入りやすいようにした。

「会員相互の親睦を図り、多様な社会活動に参加し、健康で豊かな生活を営むこと」を目的に、年間を通じて様々な事業を計画している。

地区の改善センターの清掃や、健康体操や講話などを楽しむ月２回のサロンを実施している。敬老会では町内の会員以外の 70 歳以上の人にも赤飯を届け、新そば会などのイベントを通して親睦を深めている。

また、味真野地区全体の行事や各種事業にも積極的に参加するなど、これまでの地道な取り組みが地域に認められた結果、新たな会員の加入につながり、活動の輪が広がっている。

江留中さわやかクラブ

市　町　名	坂井市	地　　域	江留中地区
代 表 者 名	坪田政右エ門	クラブ結成年月日	昭和 60.4.1
会員数(加入率)	50名(13%)	例 会 会 場	江留中集落センター

活動概要：

当クラブでは、会長や副会長に加え、「班長」を配置することで、会員の隅々にまで情報共有ができる体制ができている。

長年にわたり定例会を継続的に実施しているほか、女性部による食事の振る舞いなど、男女を問わず会員全体でまとまりのある活動を行っている。

また、会員のみならず地区住民にも参加を呼びかけ、常に地域全体がつながるような組織運営をしている。

特徴としては、組織内で同好会を結成し、仲間づくり、健康増進、信頼構築、趣味の共有を図っている。なかでも、「公式ワナゲ」の同好会は早期に立ち上げ、連合会に所属する他のクラブへ普及のきっかけとなった。他にも日曜･荒天を除く毎日の「ラジオ体操」は継続的に実施され、日々の見守り活動にも繋がっているほか、資源回収も定期的に行い、会の活動を幅広く行うことで、会員の参加意欲向上につなげている。

会員増強運動表彰

○10名以上純増クラブ（11団体）　＜期間：令和7年4月1日～令和8年4月1日＞

市　町　名	単　位　ク　ラ　ブ　名	R8 会員数（名）	R7 会員数（名）	純増会員数(名)
福井市	西方福寿会	68	57	11
	出村福寿会	33	22	11
	二の宮長寿会	75	60	15
敦賀市	元町老人クラブ　元気会	269	39	230
	呉竹町シルバークラブ福寿会	62	44	18
坂井市	磯部さわやかクラブ	60	36	24
	東部第３クラブ	64	54	10
南越前町	ホノケシルバークラブ	61	46	15
越前町	第２松寿会	74	63	11
	梅浦水仙クラブ	42	32	10
美浜町	新庄いきいきクラブ	115	105	10

○5～9名純増クラブ(20団体)　＜期間:令和7年4月1日～令和8年4月1日＞

市　町　名	単　位　ク　ラ　ブ　名	R8 会員数(名)	R7 会員数(名)	純増会員数(名)
福井市	二日市如月会	44	38	6
	川合鷲塚紫雲会	68	60	8
敦賀市	ひばりヶ丘町千寿会	77	71	6
	櫛川ことぶき会	111	106	5
大野市	大野長生会第２クラブ	38	32	6
勝山市	片瀬老人クラブ	33	28	5
鯖江市	定次福寿会	56	51	5
あわら市	北潟西第１福寿会	63	58	5
越前市	いきいき塚町・国三会	49	43	6
坂井市	一の部第１明老会	49	44	5
	二の部第１明老会	49	43	6
	第１寿会	43	35	8
	運動公園和み会	24	17	7
	西部第１クラブ	89	84	5
	春日野エイジレス倶楽部	45	38	7
	おおぜき青空クラブ	77	71	6
	恵比須友愛クラブ	77	72	5
永平寺町	ゆずり葉の会	61	53	8
	上志比第３クラブ	52	46	6
越前町	道口福寿会	65	58	7

○前年度総数より1名以上純増市町老連（1団体）

＜期間：令和7年4月1日～令和8年4月1日＞

市　町　老　人　ク　ラ　ブ　名	R8 会員数（名）	R7 会員数（名）	純増会員数（名）
敦賀市老人クラブ連合会	3,749	3,641	108

令和８年度『活動賞』

○全国老人クラブ連合会会長表彰（２団体）

中藤第二福寿会

市　町　名	福井市	結成区域	高木町　中藤島		
代表者名	白崎栄一郎	クラブ結成年月	昭和55年4月	会　員　数	39名

活動概要：仲間づくり

「中藤第二福寿会」では、中藤地区老連や自治会等が行う中藤大学やワナゲ大会、フロアカーリング大会、高木神社祭り、敬老会などには参加していたが、会が独自に企画し、会員が定期的に集まる活動があまりなかった。

コロナ禍で大勢の集まるイベント等の中止が余儀なくされる中で、少人数でも定期的に集まって、おしゃべりや何か楽しいことをしようと、令和３年４月にクラブの中に「葉ざくらサロン」と名付けた茶話会を作り活動を始めた。

毎月１回（第１火曜日）に定期開催しており、会費100円で自由に参加できるもので、現在では毎回20名程度の会員が集っている。

活動としては、４月の「お花見」や年末年始の「年忘れ会」、「お楽しみ会」を計画しているが、その他の月に何をするかは会員同士で相談して、興味のある分野を選んでいる。

最近では、ハーモニカの練習に合わせて童謡を歌ったり、特殊詐欺被害・交通事故防止に関する講習会なども行っている。

今後は、会員が肩ひじ張らずに気軽に参加でき、おしゃべりをしながら誰もが楽しめる内容に努めながら、自治会や公民館等とも協力してサロンへの活動を続けていきたい。

水口天王みやび会

市　町　名	あわら市	結成区域	天王・水口		
代表者名	加藤　絹代	クラブ結成年月	昭和30年4月	会　員　数	15名

活動概要：仲間づくり

「みやび会」では、自治会館を会場に、ゲーム大会（ワナゲ、スカットボール等）や健康体操、レクリエーション、手芸講座（干支の切り絵作成等）、交流会（お花見、食事会）など多彩な活動を行ってきた。

しかしながら、一人暮らし高齢者の増加による外出機会の減少や、地域とのつながりの希薄さなどが重なり、将来が不安と感じる人が多くなったことから、外出する機会のきっかけづくりとして、平成28年４月から「みやび会サロンスタンプカード」を導入した。

このスタンプカードは、どの行事に参加してもスタンプがもらえる仕組みにするとともに、女性会員のみのクラブである特性を活かして、スタンプが10個たまるとゴミ袋など、女性目線の実用的な景品を提供するなど、会員の参加意欲を高める工夫を凝らしている。

こうした取り組みの結果、「スタンプカード」も「みやび会」の事業として定着し、参加者が増加するとともに、定期的に会員が集まることにより、会員同士の健康チェックや安否確認等にも繋がり、現在では地域に根付いたクラブとして、地域住民からも期待される存在となっている。

地元アトラクション

奥越太鼓保存会



特　徴　大野の曲太鼓の特徴は野趣の妙味（即興と調和）にあり、数多くの優れた打ち手によって喜怒哀楽を表現する独特の曲打ちが生まれ、江戸時代から昭和初期まで、祭り事には欠くことの出来ない庶民の芸能として、人々に親しまれ伝承されてきました。奥越太鼓の最大の特徴は、固定された型をなぞるだけではなく、**「打つ人それぞれの持ち味や祈りを自由に表現する」**という点にあります。伝統的なリズムの基盤を守りつつも、叩き手の力強さや躍動感、感情の入れ方によって表情が変わる、生きた演奏が受け継がれています。

大野市老人クラブ会員による「老人クラブの歌」の踊り披露



「老人クラブの歌」に大野市老人クラブ連合会の三嶋副会長が独自の振付を考案されました。
県老連では、女性委員会を中心にこの振付を広く発信し、地域の絆づくりに繋げたいと考えています。
ぜひ皆さんで楽しくステップを覚え、会場が一体となって、みんなで楽しく笑顔で踊りましょう！

振付の動画は右記 QR コードを読み込むとどなたでもご覧になれます。

大　会　宣　言(案)

団塊の世代がすべて７５歳を超え本格的な「超高齢社会」となった現在、我々高齢世代は、これまでの「支えられる側」から、それぞれの状況に応じて「支える側」にもなりうる社会を目指す必要があります。

こうした中、誰もが住み慣れた地域で生きがいをもって、共に支え合いながら「暮らすことのできる「地域共生社会」を実現することがますます重要になるとともに、高齢者の健康や生活維持、社会からの孤独・孤立、消費者被害など、多様な生活課題も顕在化しています。

こうした課題に対して私たち老人クラブは、地域での仲間づくりや健康づくり、介護予防活動等に加えて、高齢者相互の支え合い活動や見守り活動などを通じて「地域共生社会」の実現に向けてその一翼を担っています。

地域のつながりが希薄化する現状においては、老人クラブの果たす役割は極めて重要であり、これまで取り組んできた仲間づくりや支え合いの活動を、関係団体と連携しながらさらに充実・発展させていくことを地域からも求められています。

私たち老人クラブ会員はこうした期待に応えるため、「結の心が息づく城下町」ここ大野市において、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

一、　老人クラブ活動の基盤となる会員増強に努め、活動の活性化を推進します

一、　地域の友愛活動に積極的に参加し、高齢者の暮らしを支えます

一、　健康づくりや介護・フレイル予防活動を充実し、健康寿命を延ばします

一、　高齢者を取り巻く交通事故や消費者被害の防止に向けた啓発活動を推進します

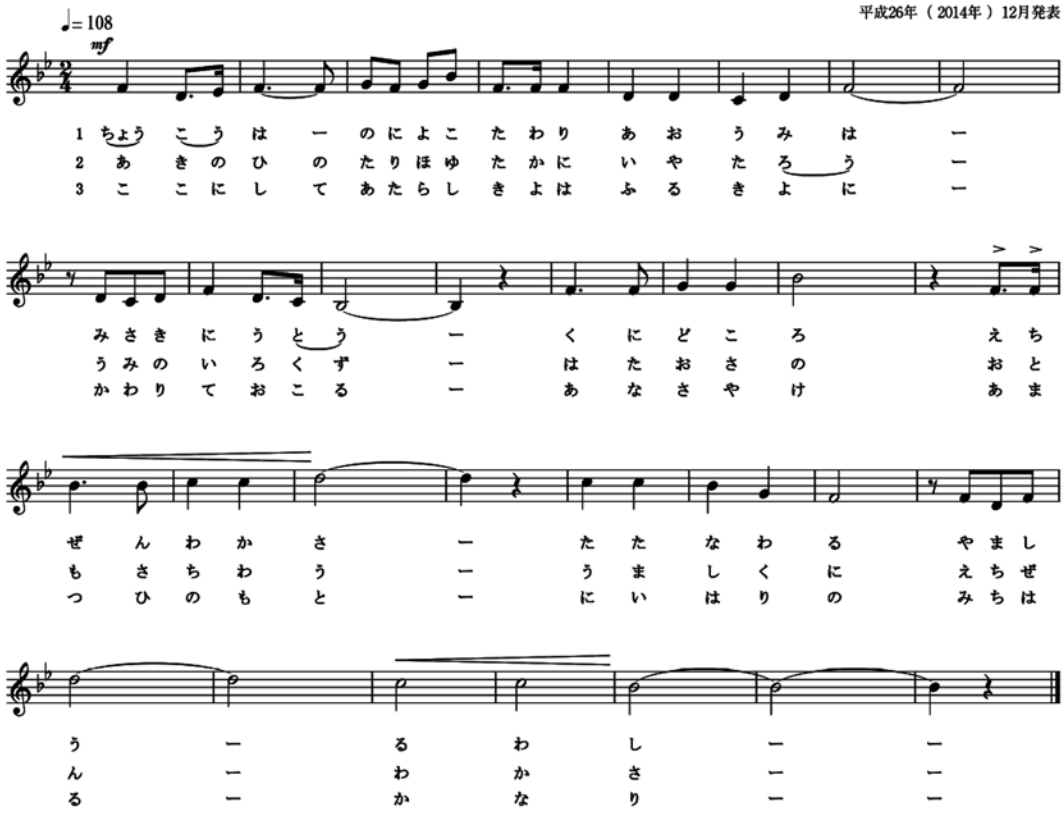
一、　高齢者の尊厳と命が守られる「地域共生社会」の実現を目指します

令和８年 11 月６日

第 53 回福井県老人クラブ大会

新福井県民歌

三好達治（みよしたつじ） 作詞
小松長生（こまつちょうせい） 作曲
平成26年（2014年）12月発表



新福井県民歌

作詞 三好達治
作曲 小松長生

一、
長江（ちょうこう）は　野に横たはり
青海（あおうみ）は　岬にうたふ
国どころ　越前若狭（えちぜんわかさ）
たたなはる　山しうるはし

二、
秋の日の　垂り穂ゆたかに
いや足らふ　海のいろくづ
機杼（はたおさ）の　音も幸（さち）はふ
うまし国　越前若狭

（間奏　十秒）

三、
ここにして　新しき世は
ふるき世に　替わりて興（おこ）る
あなさやけ　天つ日（あま）のもと
新墾（にいはり）の　道はるかなり

平成二十六年（二〇一四年）十二月発表

老人クラブの歌

全国老人クラブ連合会
全国社会福祉協議会　推薦

1. 同じ仲間だ　輪をつくれ
　老人クラブは　みんなの広場
　長い人生　たたかいぬいて
　顔がほほえむ　日焼けの顔が
　みんな元気で　さあ　生きぬこう

2. 同じ仲間だ　輪をつくれ
　老人クラブは　みんなの広場
　一人くよくよ　するのは　やめて
　話し合ったり　はげまし合って
　ともに明るく　さあ　生きぬこう

3. 同じ仲間だ　輪をつくれ
　老人クラブは　みんなの広場
　若いものとも　親しみあって
　心豊かに　希望をのせて
　今日もあしたも　さあ　生きぬこう

いきいき活動を支える

老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償

◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単位老人クラブです。
◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各単位老人クラブで取りまとめて申し込む団体保険です。個人での加入手続きはできません。
◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。

※保険担当者とは・・・加入者の取りまとめ、加入申込書の記入、申込内容確認の窓口等をしてくださる方です。会長様は特に登録いたしませんので実務をしてくださる方をご登録ください。全老連保険係や保険会社から照会の連絡が入る場合があります。

2026年10月始期 2027年 4月始期版 老人クラブ 傷害保険〈掛金・補償内容〉

自分のケガと熱中症の保険（病気は対象外）

一部のタイプでは他人の物を壊したり、
他人にケガをさせた場合*1も対象となります 1人1口加入で年齢制限はありません
（複数口加入はできません） *1 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象

● **保険始期月および保険期間**

保険始期月	手続き期間（締切日厳守）	保険期間
2026年10月	**2026年7月15日～9月15日まで**	2026年10月1日午後4時から1年間
2027年 4月	**2027年1月15日～3月15日まで**	2027年 4月1日午後4時から1年間

● **掛金タイプと補償内容**

【クラブ活動中とは】所属する単位老人クラブがあらかじめ計画・実施する活動、市区町村（地区・校区）から全国までの各老連が主催する活動イベント、老人クラブ関係者として他団体の活動への参加（往復途上を含む）

タイプ ＼ 補償内容（保険金額）	掛金（1人あたり）	24時間型 クラブ活動中(往復途上を含む)・クラブ活動中以外を問わず 日常生活全般（24時間）のケガを補償します 【補償額】上段：活動中のケガの補償額 下段：（**活動中以外**のケガの補償額）				活動型 クラブ活動中(往復途上を含む)のケガを補償します	
		12,000円／年	**8,000円**／年	**5,000円**／年	**3,500円**／年	**1,000円**／年	**500円**／年
死亡保険金		390万円 (230万円)	230万円 (150万円)	230万円 (150万円)	145万円 (100万円)	80万円	45万円
後遺障害保険金		160万円 (—)	80万円 (—)	80万円 (—)	45万円 (—)	80万円	45万円
入院保険金日額 1事故につき30日限度		5,900円 (2,100円)	3,500円 (1,550円)	3,480円 (1,530円)	1,990円 (1,000円)	1,950円	990円
通院保険金日額 1事故につき30日限度		3,650円 (1,100円)	1,820円 (570円)	1,810円 (560円)	1,070円 (480円)	1,250円	590円

■ **8,000円、12,000円タイプ**には「個人賠償責任補償」（1億円限度）、「地震・噴火・津波補償」の特約がついています
■ **全タイプ熱中症も補償します**

老人クラブ 賠償責任保険〈掛金・補償内容〉

他人の物を壊したり、ケガをさせた時*1の保険。自分のケガは対象外

① **対　象**：単位老人クラブ（全員加入が条件）
② **保険期間**：毎年10月から1年間（中途加入可）
③ **掛　金**：1人年額100円（最低引受保険料3,000円）
④ **補　償**：支払限度額1億円

*1 法律上の賠償責任が伴う老人クラブ活動中の対人・対物事故が対象です。往復途上は対象外

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階
FAX.03-3597-8767 TEL.03-3597-8770
ホームページ http://www.senior-ltd.com/ メールアドレス hoken@senior-ltd.com
受付時間 9:30から12:00まで 13:00から17:00まで（土、日、祝祭日、年末年始休）
〈取扱代理店〉有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768
〈引受幹事保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL.03-3515-4143

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。
【老人クラブ傷害保険】老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険・総合生活保険（傷害補償）
【老人クラブ賠償責任保険】施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険
ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。

2026年3月作成 25TC-005744